

自然との共生について

【調査の目的】

県では、人と自然が共生する社会（※1）づくりを進めています。そこで、行政だけではなく、県民の皆さんや、企業、NPO・ボランティア等の多様な主体によって生物多様性（※2）の保全と持続可能な利用に関する施策を推進するため、平成25年3月に「福岡県生物多様性戦略」と「行動計画」、平成30年3月に「福岡県生物多様性戦略第2期行動計画」を策定しました。つきましては、県民の皆さんに、県の生物多様性保全の取組がどこまで浸透しているか、また、生物多様性保全についての考え方をお聴きし、戦略推進の参考資料とさせていただきます。

※1 人と自然が共生する社会（自然共生社会）とは

人と自然（生きもの）が共に生き、自然からの恵みを持続的に受け続けることができる社会

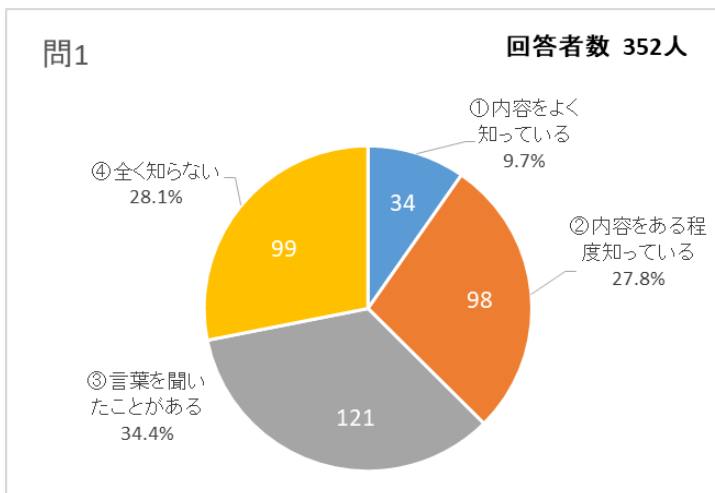
※2 生物多様性とは

私たちの住む世界には、森林、草原、川、海など多様な自然があり、その中で、哺乳類、鳥、昆虫、魚など多種多様な生きものが、「食べる－食べられる」の関係をはじめ、様々な「つながり」を持って生きている状態

（環境部自然環境課）

問1 「生物多様性」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- ① 内容をよく知っている。
- ② 内容をある程度知っている。
- ③ 言葉を聞いたことがある。
- ④ 全く知らない。



<参考>

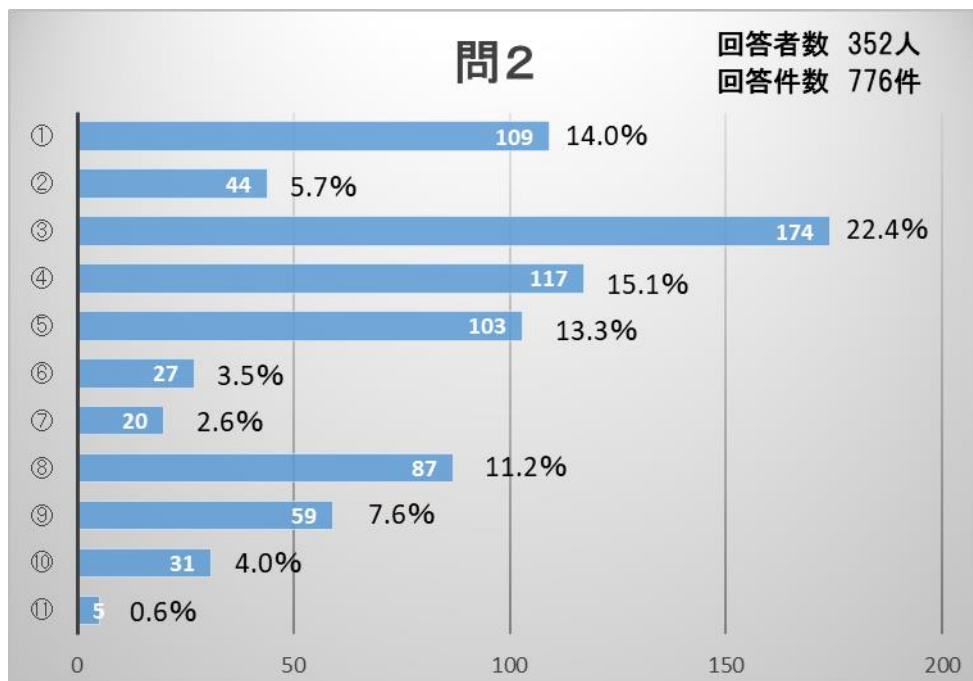
県政モニターアンケートによる生物多様性認知度の推移

（H23は生物多様性戦略策定時の数値）

	合計		
		①	②
平成23年	33.0%	7.5%	25.5%
平成26年	39.3%	6.2%	33.1%
平成27年	43.4%	11.5%	31.9%
平成28年	39.5%	11.8%	27.7%
平成29年	38.1%	11.2%	26.9%
平成30年	32.0%	9.9%	22.1%
令和元年	37.5%	9.7%	27.8%

問2 生物多様性を守るために、あなたはどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。

- ① 自分のまちを散策して、身近な自然を感じる。
- ② 身近な生きものの名前を調べる。
- ③ 地のもの・旬のものを食べる。
- ④ 野生の生きものにエサをやらない。
- ⑤ 環境にやさしい商品を選ぶ。
- ⑥ アサガオ等で緑のカーテンを作る。
- ⑦ 生きもの観察会や環境保全活動に参加する。
- ⑧ ペットを最後まで飼育する。
- ⑨ 花や実のなる木を植える。
- ⑩ 自然についてできることを話し合う。
- ⑪ その他（具体的な活動）

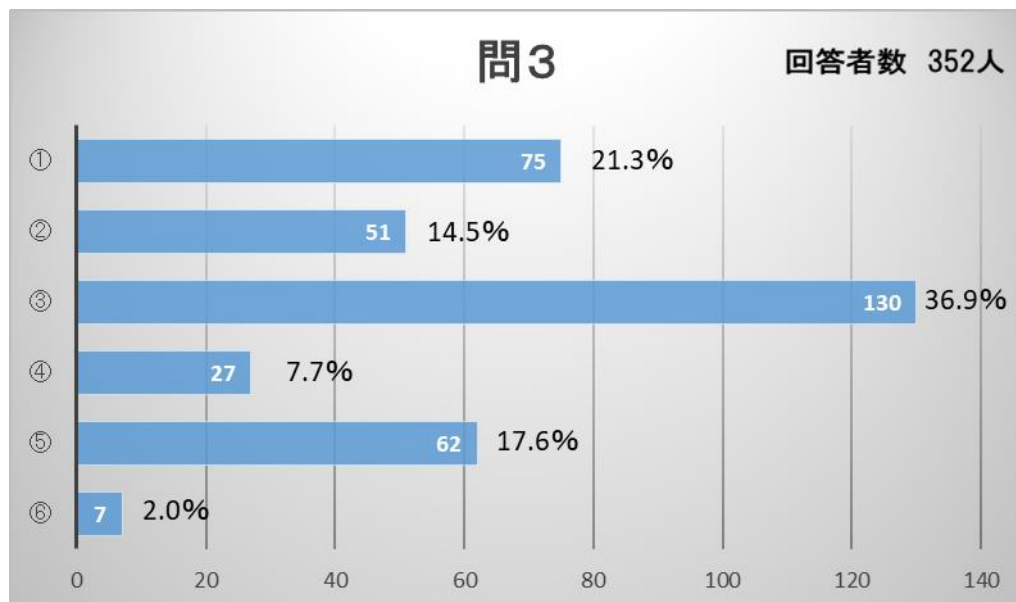


※⑪ その他（抜粋）

- ・庭木に農薬を散布しない。
- ・特に実施していない。
- ・生物多様性を意識しては特にできていない。
- ・周りにひろめる。話す。いっしょにしてみる。

問3 今後、生物多様性の保全等について、地域での自主的な取組を推進するために、県はどのようなことを支援したほうがいいと思いますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

- ① 地域の活動に対して資金等を助成する
- ② 市町村やNPO等に対して取組への助言や生物多様性に関する研修会を実施する
- ③ 誰でも取り組めるような生物多様性保全活動ためのリーフレットを作成し、周知・配布する
- ④ 自然観察会等に、生物多様性に精通した人材を派遣する
- ⑤ 一般の人を対象とした生物多様性に精通した人材を育成するための研修会を開催する
- ⑥ その他（ ）



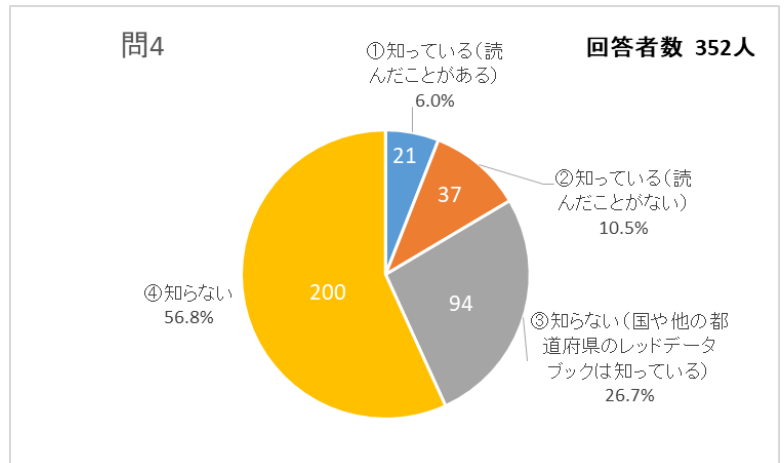
※⑥ その他（抜粋）

- ・薬剤を使ったり、むやみに外国の珍しい生物など取り入れたりしない。
- ・わかりやすく、誰でもできる具体的な行動を提案する。
- ・幼稚園や保育園、小学校に大学教授など詳しい方を招く特別講座などを実施してほしい。
- ・説明会やパンフレットを配るだけでは記憶に残らない。
- ・子どもたちに、食べることは命を頂いていることだという事をしっかり認識させる教育をしてほしい。

問4 県では、自然環境調査の結果をもとに、絶滅のおそれのある野生生物の現状や減少要因等をまとめた「福岡県レッドデータブック 福岡県の希少野生生物（以下、「福岡県レッドデータブック」という。）」を作成しています。

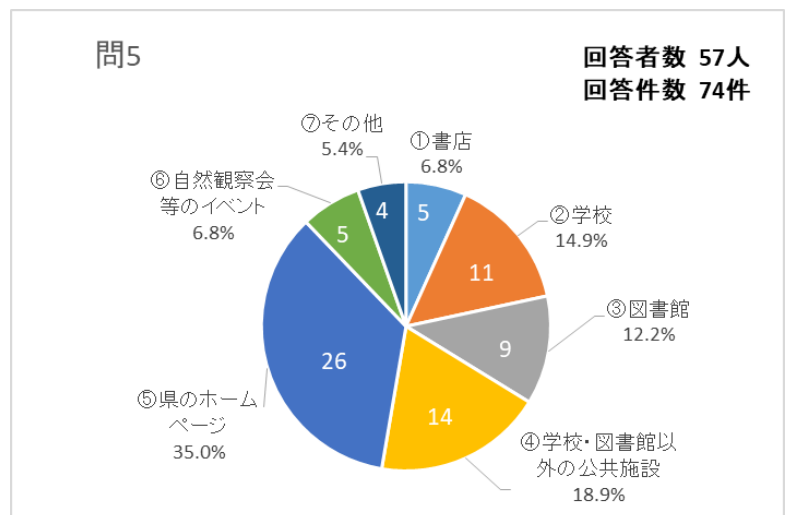
あなたはこの福岡県レッドデータブックを知っていますか。次の中から【1つだけ】を選んでください。

- ① 知っている（読んだことがある）
- ② 知っている（読んだことがない）
- ③ 知らない（国や他の都道府県のレッドデータブックは知っている）
- ④ 知らない



問5 問4で①又は②を選択された方にお尋ねします。福岡県レッドデータブックをどのようにして知りましたか。次の中から当てはまるもの【全て】を選んでください。

- ① 書店
- ② 学校
- ③ 図書館
- ④ 学校・図書館以外の公共施設
- ⑤ 県のホームページ
- ⑥ 自然観察会等のイベント
- ⑦ その他（ ）



※⑦ その他（抜粋）

- ・動植物園の案内。
- ・日常的に、業務で使用している。
- ・生物系のテレビ番組内で知った。
- ・インターネットで見た。

問6 自然との共生について、これまでの設問以外に意見がありますか（抜粋）。

- ・無農薬野菜を推奨してほしい。
- ・とても重要な案件だとは思いますが、中々行動まではできない。
- ・県の取り組みがほとんど見えない。
- ・県の広報の仕組みを見直す必要があるのではないのでしょうか？
- ・旬の食材を購入する意識が低くなりつつあると思う。この食に対する意識の低下が、自然環境への意識低下につながっていると思う。経済活動と自然保全の対立ではなく、自然の保全が経済の利益になることを数字で提示する必要がある。
- ・県民への啓蒙、啓発活動を活発化する。
- ・マイクロプラスチック問題をもっと取り上げ、対策してほしい。
- ・近所の田畑がどんどん宅地化されている。自然との共生を大事にするのであれば、田畑を持っている方への優遇措置が必要ではないか。
- ・保育園、幼稚園や小学校の先生で生き物が苦手な人をよく見かける。子どもたちは先生からの影響をよく受けるので、教育者の生物多様性への理解を深めてもらいたい。
- ・近年キャンプが流行っているので、自然の楽しみ方と守り方をセットで啓発する。
- ・自然の乱開発を規制してほしい（特に山の木を切り太陽光発電パネルを設置しているのがとても気になる）。
- ・樹齢の古い樹はなるべく伐採しないようにしてほしい。
- ・企業から環境税のようなものをある程度確保する。
- ・自分の事として受け止めていない人が多い。
- ・子供の時からの教育が大切。
- ・温暖化対策について、地域からの確実な一歩の取組に期待したい。
- ・生物多様性というと食物連鎖のような気がするがちがうのか？
- ・以前、市主催の里山の山菜を食べるイベントに参加した。イベントに助成をして同時に啓発運動を行う。
- ・リサイクルなどもこの問題に含まれると思う。思いついたときにすぐ持って行ける場所などが必要。
- ・アピールが足りないと感じる項目。県や市の広報、テレビやラジオでの呼び掛けをもっとすべき。
- ・これだけ自然破壊が進んでいる危機感を、もっと多くの人に知らしめてほしい。